

# 平成 26 年度大阪の学校統計

学校基本調査結果（速報）－平成 26 年 5 月 1 日現在－

大阪府総務部統計課 勤労・教育グループ

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 [http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/gakkou\\_s/index.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/gakkou_s/index.html) 》

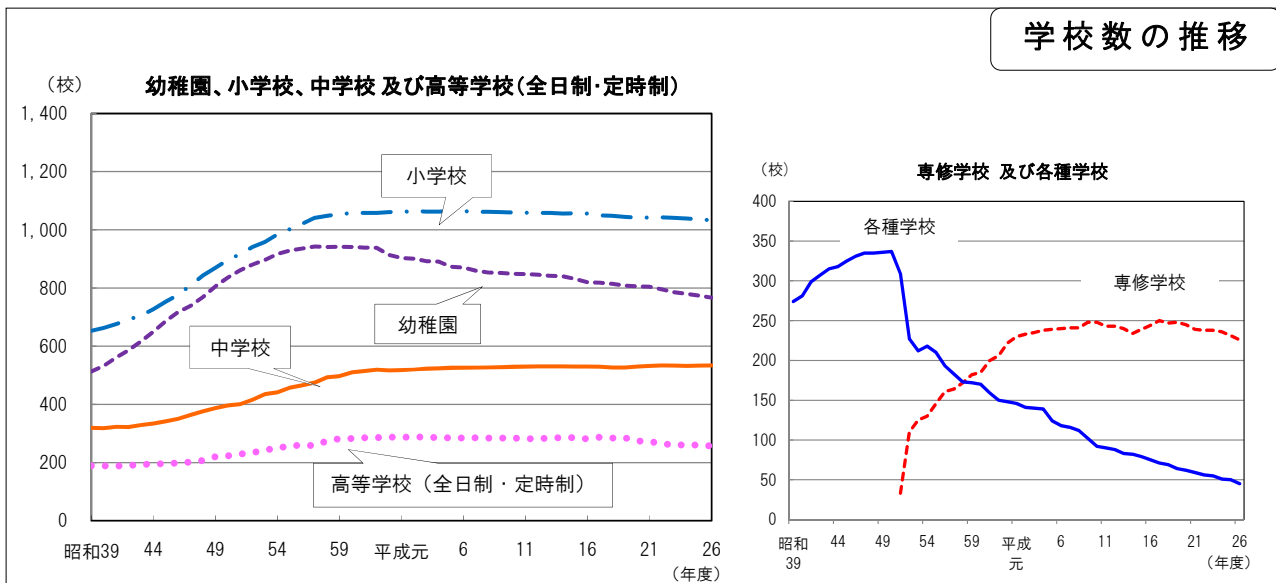
平成 26 年 7 月 31 日に、平成 26 年度「大阪の学校統計」学校基本調査結果（速報）をとりまとめましたので、その概要を紹介します。

なお、この数値は速報値であり、後日（12 月下旬）文部科学省から公表される学校基本調査報告書の数値が確定値となります。

## 1 学校数

学校数は、幼稚園、小学校、高等学校（全日制・定時制）はともに減少傾向で、特に幼稚園では 767 園となり 30 年連続減少しています。また、中学校は 534 校、特別支援学校は 47 校でともに過去最高となっています。

専修学校、各種学校はともに前年度より減少し、各種学校では過去最低の 45 校となっています。

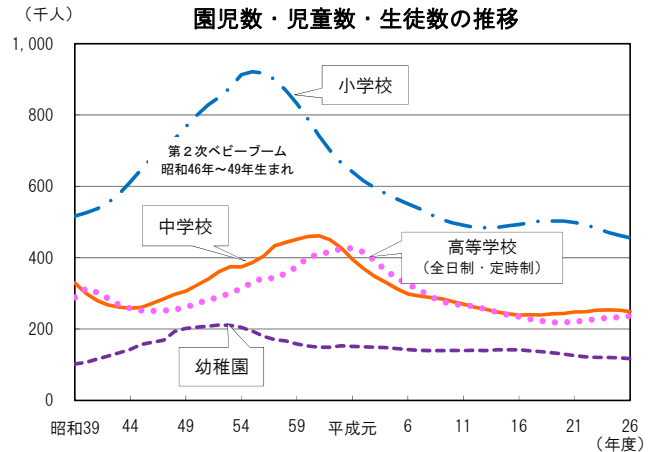


	学校種	学校数	対前年度 増減数	備考
学 校 数	幼稚園	767園	7園減少	30年連続減少
	小学校	1,033校	3校減少	4年連続減少
	中学校	534校	1校増加	平成22年度と同数で過去最高
	高等学校 (全日制・定時制)	257校	3校減少	2年連続減少
	高等学校(通信制)	8校	1校増加	4年ぶりに増加
	中等教育学校	1校	増減なし	増減なし
	特別支援学校	47校	1校増加	2年連続増加で過去最高
	専修学校	226校	5校減少	3年連続減少
	各種学校	45校	5校減少	昭和51年度から減少傾向で過去最低

## 2 生徒数

生徒数は、小学校では初めてピーク時（昭和55年度）の半数を割込み約45万6千人になっています。また、高等学校（全日制・定時制）では7年連続増加し約23万7千人に、特別支援学校では過去最高の約9千人となっています。

また、専修学校では3年連続増加し約7万人となっています。各種学校は前年度より減少し、約1万1千人となっています。



	学校種	在学者数	対前年度増減数	備考
在学者数	幼稚園	11万6,952人	2,193人減少	2年連続減少 ピーク時(昭和52 21万1,460人)の55.3%
	小学校	45万5,632人	7,436人減少	6年連続減少 ピーク時(昭和55 92万1,519人)の49.4%
	中学校	24万8,948人	3,818人減少	2年連続減少 ピーク時(昭和61 46万931人)の54.0%
	高等学校(全日制・定時制)	23万6,529人	3,534人増加	7年連続増加 ピーク時(平成元 42万6,706人)の55.4%
	高等学校(通信制)	1万8,441人	245人減少	13年連続減少
	中等教育学校	743人	19人減少	前年度より減少
	特別支援学校	8,831人	271人増加	18年連続増加で過去最高
	専修学校	7万423人	157人増加	3年連続増加
	各種学校	1万790人	24人減少	前年度より減少

## 3 長期欠席者数(平成25年度間：平成25年4月1日から平成26年3月31日)

### (1) 小学校

1年間に30日以上欠席した長期欠席者数は5,605人で、理由別でみると「病気」が最も多く2,248人、次いで「不登校」が1,874人となっています。

前年度と比べると、長期欠席者数は178人増加しており、理由別では「病気」が233人減少、「不登校」は327人増加しています。

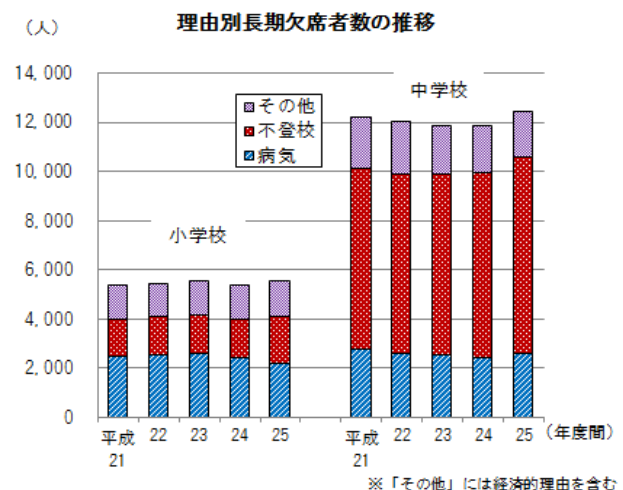
また、「不登校」による長期欠席者数が全児童数に占める割合は0.4%で、前年度より0.1ポイント増加しています。

### (2) 中学校

1年間に30日以上欠席した長期欠席者数は1万2,477人で、理由別でみると「不登校」が最も多く8,003人、次いで「病気」が2,627人となっています。

前年度と比べると、長期欠席者数は609人増加しており、理由別では「不登校」が519人増加、「病気」も141人増加しています。

また、「不登校」による長期欠席者数が全生徒数に占める割合は3.2%で、前年度より0.2ポイント増加しています。



今回の調査結果では、中学校卒業者の高等学校等進学率が「98.0%」で昨年度の過去最高から0.2ポイント低下しています。

最近は高校授業料の支援制度や、府立高校の入学者選抜方法の変更など、高等学校を取り巻く環境の変化が大きくなっています。

今回はこうした高等学校にスポットをあてて紹介します。

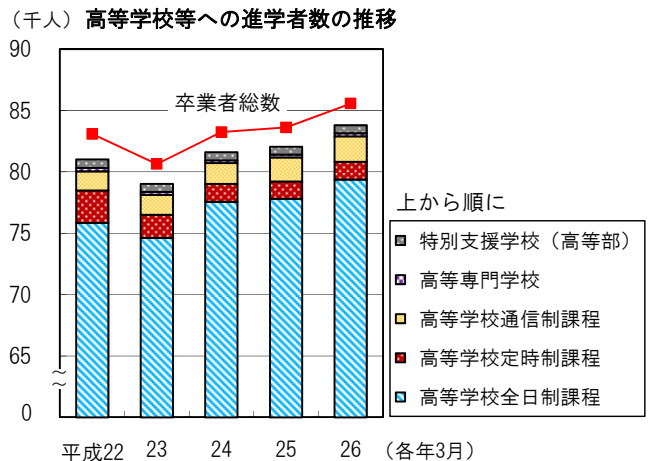
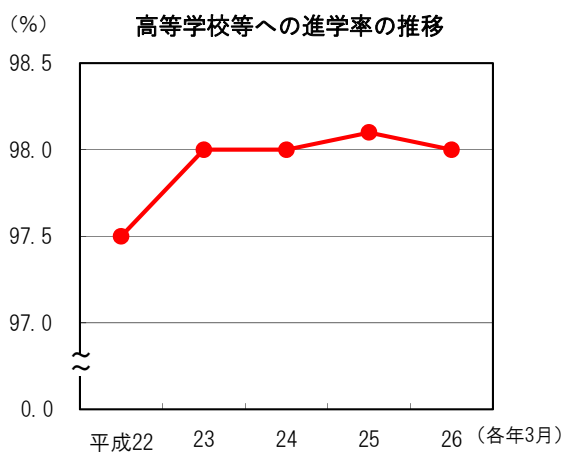
## 中学校卒業後

### 高等学校等への進学者 —進学率は98.0%（過去最高から転じて低下）—

中学校卒業者の高等学校等への進学率は98.0%で、前年より0.2ポイント低下しています。

また、進学者数は8万3,807人で、前年より1,757人（対前年2.1%）増加しています。

なお、進学先別では、高等学校全日制課程が7万9,372人（構成比94.7%）、定時制課程が1,447人（同1.7%）、通信制課程が2,083人（同2.5%）、高等専門学校が249人（同0.3%）、特別支援学校高等部が654人（同0.8%）となっています。



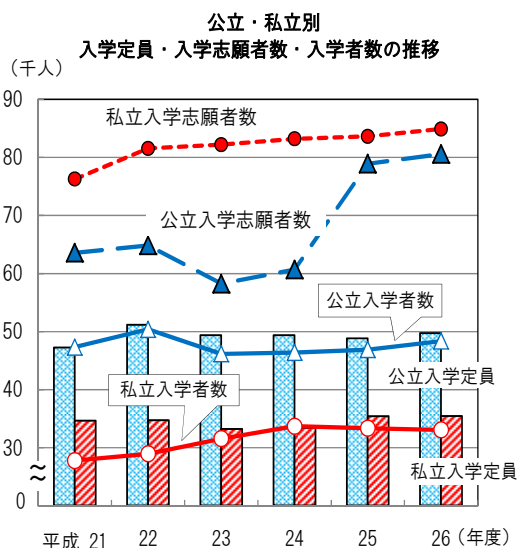
## 高等学校（全日制・定時制）

### 1 入学状況 —入学者数は3年連続増加—

入学者数は8万1,899人で、前年度より1,204人（対前年度1.5%）増加しています。

公立、私立別でみると、入学者数は公立では4万8,368人で前年度より1,475人（同4.2%）

増加し、私立では3万3,080人で前年度より273人（同△1.9%）減少しています。



また、入学志願者数は、公立では8万580人で前年度より1,666人（同2.1%）増加し、私立では8万4,892人で前年度より1,262人（同1.5%）増加しています。

#### 授業料支援制度等

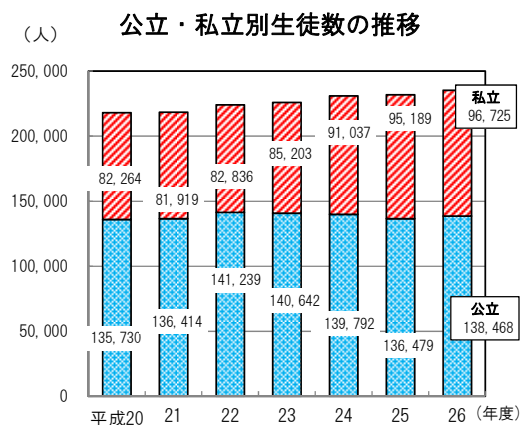
- 平成22年度 公立高校生の授業料無償化
- 平成23年度 私立高校生等授業料支援補助金の拡充
- 平成24年度 公立高等学校入学選抜（前期・後期）の拡充
- 平成26年度 高等学校等就学支援金制度の見直し（所得制限の導入）

## 2 生徒数 —私立は5年連続増加—

生徒数は23万6,529人で前年度より3,534人（対前年度1.5%）増加し、7年連続増加しています。

設置者別では、国立が1,336人で前年度より9人（同0.7%）増加、公立が13万8,468人で、前年度より1,989人（同1.5%）増加しています。

私立の生徒数は9万6,725人で、前年度より1,536人（同1.6%）増加し、平成22年度から5年連続の増加となっています。



## 3 卒業後の状況

### (1) 卒業生総数 —卒業生総数は前年より減少—

卒業生総数は7万1,422人で、前年より1,084人減少しています。

### (2) 大学等進学者 —進学率は3年連続低下から転じて上昇—

進学率は58.3%で、3年連続低下から転じて前年より0.7ポイント上昇しています。

また、進学者数は4万1,668人で、前年より137人減少しています。

なお、進学先別では、大学（学部）が3万6,946人（構成比88.7%）、短期大学（本科）が4,638人（同11.1%）となっています。

### (3) 専修学校等進学者 —各種学校入学者は2年連続増加—

専修学校（専門課程）進学者数は1万766人で、前年より86人減少、専修学校（一般課程）入学者数は722人で、前年より202人減少し、各種学校入学者は4,168人で前年より366人増加しています。

### (4) 就職者 —卒業生に占める就職者の割合は前年より0.4ポイント上昇—

卒業生に占める就職者の割合は11.6%で、前年より0.4ポイント上昇しています。

また、就職者総数は8,287人で、前年より175人増加しています。

